

全国農業新聞 2020年8月14日

おいしい野菜を消費者に

所沢市 川瀬 悟さん 4月に新規就農 HPや直売所で販売

【埼玉】所沢市の川瀬悟さん(40)は、今年4月に農業研修を修了し、有機栽培農家(オーガニックファ

ーム所沢農人)として新規就農を果たした。

元々、両親が家庭菜園をしていた影響などから自然や農作業が好きだった川瀬さん。学生時代には長期休暇を利用して、積極的に農業体験をしていた。その後、サラリーマンとなったが、農業への思いは強く、4年前に脱サラして、埼玉県小川町の「憐風の丘ファーム」の門をたいた。

ここで有機農業の技術を学びながら就農先を探していた。直売所が多くあり、新規就農者の支援を積極的に行っている所沢市で、新規参入を支援する2年間の農業研修に参加できることとなった。

就農を決心してから4年近くの歳月が流れ、ここで晴れて農業者に。現在、経営耕地は約80坪で、ニンジン、カラー大根、キャベツなど年間1500品目以上を栽培している。

多品目栽培に取り組む理由は、季節ごとに採れるい

ろいろな種類の野菜をバランス良く提供し、目でも楽しめるよう、彩り豊かなラインアップにしたい、というこだわりがあるからだ。

「野菜を通してお客様とコミュニケーションをとることは、さまざまな声を聞くことができ、大変励みになる」と話す川瀬さん。

ホームページやマルシェでの販売の他、採れたて!農産物直売と「とことこ市」にも参加している。「とことこ市」は、市内生産者らが出店し、市役所別館入り口前広場などで、毎月第2・第4火曜日開催されている。野菜の他、所沢ブランド特産品として認定を受けたにんじんジュースも人気となっている。

今後について、「まだまだ独立就農したばかりで試行錯誤をしているところだが、前向きに今後も続けていきたい。おいしい野菜を多くの人に手軽に食べてほしいので、スーパーに並ばないもの、お客様が手にする機会が少ないものを今後も提供していきたい」と語る。

オーガニックファーム所沢農人のホームページ(https://kokorozawaroute.net/)での購入も可能。



③所沢市農産物販売の「とことこ市」で販売をする川瀬さん。④ニンジン、カラー大根、キャベツなど年間1500品目以上を有機栽培している川瀬さん

